

阪神北地域新設特別支援学校（仮称）の整備について

1 整備の概要

(1) 整備の趣旨

県立こやの里特別支援学校の児童生徒数が増加して過密化している状況を解消し、教育環境の改善を図るとともに、川西市北部・猪名川町の児童生徒の通学時間を短縮するため、川西市北部に特別支援学校を新たに整備します。

(2) 学校の概要

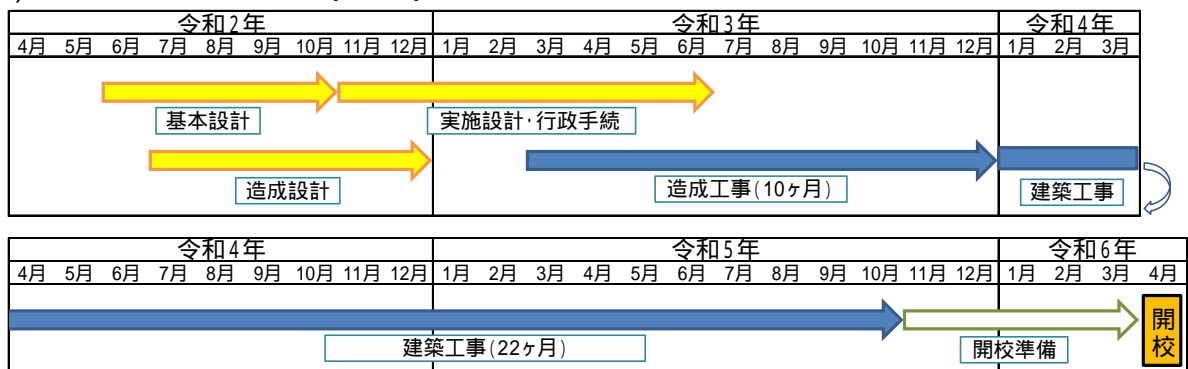
設置場所 川西市丸山台3丁目（敷地面積 約13,000㎡）



学校規模等

- ・ 障害種別 知的障害
- ・ 設置学部 小学部・中学部・高等部
- ・ 児童生徒数 約120人
- ・ 通学区域 川西市・猪名川町
- ・ 通学方法 スクールバス（一部は公共交通機関を利用）

(3) 今後のスケジュール（予定）



状況の変化により進捗が遅れることがあります。
工事説明会については改めてご案内いたします。

2 事業費

約32億円（設計費、造成費、建築費、グラウンド整備費等）

3 建物の概要

施設内容		床面積	備考
校舎	普通教室	約1,100㎡	22教室分
	特別教室	約1,200㎡	理科室、音楽室、陶芸室、木工室、福祉実習室、食品加工室、プレイルーム、コンピュータ室等
	その他	約4,500㎡	職員室、図書室、保健室、ランチルーム、多目的スペース、カウンセリングルーム、教育相談室等
体育館		約900㎡	
プール		約200㎡	25m × 4 コース
合計		約7,900㎡	

特別支援学校での教育活動等のイメージ（参考）



喫茶実習の様子



農園作業の様子



地域(駅)での清掃実習



プレイルーム



地域(バト)での販売実習



調理実習の様子



ランチルーム



福祉実習の様子



PC教室

4 新設する特別支援学校の特徴

障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応

- ・ 個別の課題を克服するため、ICT機器の活用等により主体的な活動を促し、児童生徒の能力を伸長する教育活動を進めます。
- ・ 卒業後の自立と社会参加に向けて、企業や地域の方等を講師に招聘した、販売や福祉サービス、清掃等の多種多様で実践的な職業教育を進めます。

地域に開かれた、地域とともに歩む学校

- ・ 学校を地域に積極的に開放するとともに、地域の方との交流の機会（学校行事へのご招待等）や空間を設けます。
- ・ 近隣の小中学校や地域等の行事に参加するなど、交流を深めます。
- ・ 周辺の住環境に配慮するとともに、外観を全体として調和のとれた形状、落ち着いた色調とします。

安全・安心、環境に配慮した施設・設備

- ・ バリアフリー及び、活動の見通しが持ちやすいユニバーサルデザインなど、配置や動線に配慮します。
- ・ 自然採光、太陽光発電等の自然エネルギーを取り入れる他、LED照明の導入や屋上緑化等、環境負荷の軽減を図ります。

特別支援教育とは

障害のある児童生徒の自立と社会参加に向けた必要な力を培うため、児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その可能性を最大限に伸ばし、生活や学習上の困難を改善または克服するため、個に応じた適切な指導及び必要な支援を行うという教育です。

特別支援学校とは

障害のある幼児児童生徒を対象に、幼稚園、小学校、中学校、高等学校と同様の教育を行うとともに、卒業後を見据え、障害に基づく様々な困難を改善・克服するため、身体の動き・コミュニケーションに関する力や、日常生活、就労、スポーツや芸術といった余暇に関する力などの習得に取り組んでいます。また、特別支援学校教員の有する専門性を活かし、地域の幼稚園、小・中学校への支援も行っています。

現在、兵庫県下に県立特別支援学校27校を設置しており、4,173人の幼児児童生徒が学んでいます。県立こやの里特別支援学校へは、伊丹市・宝塚市・川西市・猪名川町及び西宮市の一部から387人の児童生徒が通学しています（令和2年5月1日現在）。

【お問い合わせ先】

兵庫県教育委員会事務局 特別支援教育課（担当：佐藤、加藤）

TEL：078-362-3774 FAX：078-362-4286

E-mail：tokubetsushien@pref.hyogo.lg.jp